

記者発表（資料配布）（本紙のみ）			
月／日（曜日）	担当部署名	電話番号	発表者名
平成 29 年 2 月 8 日（水） 午後 1 時 00 分	総務課 広報室	0790-82-2549	広報室長 松阪鉄矢 （担当者 時政典孝）

## 第64回兵庫県広報コンクールで広報さようが入選、「広報まちづくり賞」を受賞

日ごろから本町の広報活動にご協力いただき、ありがとうございます。

このたび、本町の「広報さよう」が、「第64回兵庫県広報コンクール」の広報紙・町の部で入選となりました。また、(公財)兵庫県市町村振興協会が実施した「広報まちづくり賞」も併せて受賞しましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 受賞作品のあらまし

##### 特集「わがまちを創る」

受賞したのは「川は心のふるさと」というテーマで特集した「広報さよう」平成28年9月号です。

特集では、水害の教訓を後世へ伝え、川の環境を整えて町の風情とするために、流域の住民が進めているまちづくりを紹介しています。

なお、「広報さよう」は、町公式ホームページで閲覧できます。

（掲載アドレス [http://www.town.sayo.lg.jp/kouhou\\_sayo/sayo201609.pdf](http://www.town.sayo.lg.jp/kouhou_sayo/sayo201609.pdf)）

#### 2. 審査結果の詳細

第 64 回兵庫県広報コンクール 広報紙部門 町の部入選 、 広報まちづくり賞

##### 【審査講評】

表紙から 15 ページに渡る力が入った、ふるさとの川とどう向き合うかをテーマとした読み応えのある特集。大人も子どもも一緒になって故郷の川を楽しみながら、自然の「怖さ」を学んだり「優しさ」とふれあう姿に共感する。ふるさとの川の魅力の再発見だけでなく、かつて経験した水害を踏まえた防災面からのアプローチもあり、まちづくりを住民と共に探る展開となっている。紙面のレイアウトに工夫がみられ、表紙写真から広報の「送り手」からの強い思いが集約されているが、写真は逆光なのか、人物が暗くなってしまい、寂しげな感じに。見出しの力強いフォントもアンバランスな印象。特集記事はさまざまな角度から取材されており、熱い思いが伝わってくるが、パートごとのくくりが、ややわかりにくい。文章も、少し意味を取りにくいところがあったのが残念。

#### 3. その他

##### (1) 受賞式

2月15日(水)に兵庫県民会館で開催される「平成28年度兵庫県広報研究大会」で行われます。